

令和2年上尾市教育委員会7月定例会 会議録

- 1 日 時 令和2年7月28日（火曜日）
開会 午前9時32分
閉会 午前10時36分
- 2 場 所 上尾市役所 7階大会議室
- 3 出席委員 教育長 池野和己
教育長職務代理者 細野宏道
委員 中野住衣
委員 大塚崇行
委員 内田みどり
委員 小池智司
- 4 出席職員 教育総務部長 小林克哉
学校教育部長 瀧沢葉子
学校教育部参事 兼 学校教育部次長 関孝夫
教育総務部次長 清水千絵
学校教育部副参事 兼 学務課長 太田光登
学校教育部副参事 兼 指導課長 兼 教育センター所長 田中栄次郎
教育総務部 教育総務課長 池田直隆
教育総務部 生涯学習課長 小宮山克巳
教育総務部 図書館長 島田栄一
教育総務部 スポーツ振興課長 柳川忠明
学校教育部 学校保健課長 荒井正美
学校教育部 中学校給食共同調理場所長 戸國健一
書記 教育総務課主幹 利根川直秀
教育総務課副主幹 上山英樹
教育総務課主査 田中輝夫
教育総務課主任 中里ひろみ
- 5 傍聴人 5人

6 日程及び審議結果

日程第1 開会の宣告

日程第2 6月定例会会議録の承認

日程第3 会議録署名委員の指名

日程第4 議案の審議

議案第41号 上尾市図書館協議会委員の任命について

議案第42号 上尾市立小・中学校通学区域審議会委員の委嘱について

日程第5 報告事項

報告事項1 令和2年上尾市議会6月定例会について

報告事項2 第62回上尾市民体育祭の開催中止について

報告事項3 令和2年6月 いじめに関する状況調査結果について

報告事項4 令和元年度上尾市学校安全パトロールカー事業運行実績について

日程第6 今後の日程報告

日程第7 閉会の宣告

7 会議録

日程第1 開会の宣告

(池野和己 教育長) それではただ今から令和2年上尾市教育委員会7月定例会を開会いたします。本日、傍聴の申出はございますか。

(池田直隆 教育総務課長) 5名の方から傍聴の申出がございます。教育長の許可をお願いいたします。

(池野和己 教育長) 傍聴を許可いたします。ご案内をお願いいたします。

～傍聴人入場～

(池野和己 教育長) それでは、日程に従いまして、会議を進めます。

日程第2 6月定例会会議録の承認について

(池野和己 教育長) それでは、「日程第2 6月定例会会議録の承認について」でございます。6月定例会の会議録につきましては、すでにお配りし、確認をさせていただいておりますが、修正等がございましたらお伺いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

～委員全員から「なし」の声～

(池野和己 教育長) それでは、承認することにご異議ございませんか。よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) 異議無いものと認め、小池委員にご署名をいただき、会議録とします。よろしくお願ひします。

日程第3 会議録署名委員の指名

(池野和己 教育長) 続いて、「日程第3 会議録署名委員の指名」を行います。会議録署名委員は、細野委員をお願いいたします。よろしくお願ひいたします。

(細野宏道 教育長職務代理者) はい。

日程第4 議案の審議

(池野和己 教育長) 続きまして、「日程第4 議案の審議」を行います。本日予定されている議案は2件でございます。最初に、「議案第41号 上尾市図書館協議会委員の任命について」説明をお願いいたします。

(小林克哉 教育総務部長) 議案第41号につきましては、島田図書館長が説明申し上げます。

○議案第41号 上尾市図書館協議会委員の任命について

(島田栄一 図書館長) 議案書の1ページをご覧ください。「議案第41号 上尾市図書館協議会委員の任命について」でございます。提案理由でございますが、上尾市図書館協議会委員に欠員が生じたため、後任の委員を任命したいので、上尾市図書館協議会条例第2条第2項の規定により、この案を提出するものです。今回の任命については、1号委員である学校教育関係者のうち、小学校長会における役員等の変更により、後任として任命するものです。なお、任期は前任者の残任期間とし、令和3年7月31日まででございます。説明は、以上です。

(池野和己 教育長) ありがとうございます。ただ今、議案第41号につきまして説明をいただきました。質疑、意見等がございましたら、お願いいたします。

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。

~委員全員から「はい」の声~

(池野和己 教育長) ないようですので、採決に移ります。「議案第41号 上尾市図書館協議会委員の任命について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

~委員全員から「異議なし」の声~

(池野和己 教育長) 異議ないものと認め、原案どおり可決いたしました。

(池野和己 教育長) 続きまして、「議案第42号 上尾市立小・中学校通学区域審議会委員の委嘱について」説明をお願いいたします。

(瀧沢葉子 学校教育部長) 議案第42号につきましては、太田副参事兼学務課長が説明申し上げます。

○議案第42号 上尾市立小・中学校通学区域審議会委員の委嘱について

(太田光登 学務課長) 「議案第42号 上尾市立小・中学校通学区域審議会委員の委嘱について」ご説明いたします。議案書の2、3ページをご覧ください。提案理由でございますが、上尾市立小・中学校通学区域審議会委員の委嘱を行うため、上尾市立小・中学校通学区域審議会条例第2条の規定により、この案を提出するものでございます。なお、委嘱する委員は2ページの表のとおりでございます。1号委員は市議会議員であり、文教経済常任委員会の委員長、副委員長でございます。2号委員は、自治会連合会、PTA連合会、小・中学校校長会の代表者でございます。3号委員は、学識経験者でございます。説明は以上です。

(池野和己 教育長) ありがとうございます。議案第42号について説明をいただきました。質疑、意見等がございましたら、お願いいたします。

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。

~委員全員から「はい」の声~

(池野和己 教育長) ないようですので、採決に移ります。「議案第42号 上尾市立小・中学校通学区区域審議会委員の委嘱について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

～委員全員から「異議なし」の声～

(池野和己 教育長) 異議ないものと認め、原案どおり可決いたしました。

日程第5 報告事項

(池野和己 教育長) 続きまして、「日程第5 報告事項」でございます。本日予定されている報告は4件でございます。よろしくお願いいたします。

(小林克哉 教育総務部長) 「報告事項1」につきまして、全体概要につきましては、清水教育総務部次長より、一般質問につきましては、両部の部長より、次の「報告事項2」につきましては柳川スポーツ振興課長より、ご説明申し上げます。

○報告事項1 令和2年上尾市議会6月定例会について

(清水千絵 教育総務部次長) それではお手元の報告事項1ページ目をお願いいたします。「令和2年上尾市議会6月定例会について」ご報告いたします。会期は、令和2年6月8日から6月30日までの23日間ございました。

市長提出議案のうち教育関連議案4件についてご報告いたします。

議案第39号「令和2年度 上尾市一般会計補正予算(第4号)」につきましては、全会一致により、原案のとおり可決となりました。今回のコロナ禍を受けて、政府がGIGAスクール構想を加速化させたことにより、本年度において小・中学校の児童・生徒1人に1台のパソコンを整備するなどの補正でございます。

議案第67号「令和2年度 上尾市一般会計補正予算(第5号)」につきましても、全会一致により、原案のとおり可決となりました。こちらは、国の令和2年度第2次補正予算が成立したことから、新型コロナウイルス感染症のまん延防止に係る事業の実施に要することとなったものの増額と実施延期、中止となった事業の減額についての補正でございます。

議案第41号「市長等の給与の特例に関する条例の制定」につきましては、全会一致により、原案のとおり可決となりました。この議案は、新型コロナウイルス感染拡大による厳しい社会経済情勢を踏まえ、市長、副市長及び教育長の給与について、期間を定めて減額支給するものでございます。

続きまして、議案第46号「上尾市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定」につきましても、全会一致により、原案のとおり可決となりました。この議案は、公務災害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、学校医等に対する介護補償の額及び休業補償等の額の算定の基礎となる補償基礎額を引き上げるものでございます。

私からは以上でございます。続きまして、市政に対する一般質問につきましては、両部長からご報告いたします。

(小林克哉 教育総務部長) 別冊の「令和2年上尾市議会6月定例会 市政に対する一般質問 答弁要旨」をお願いいたします。教育総務部関連では、8人から質問がありました。

2ページをお願いします。星野良行議員から、「屋内50mプールの誘致」について、上尾市の誘致活動の状況や市長の決意などについての質問がありました。上尾市では、本年3月26日、市長及

び市議会議長をはじめ、副議長、商工会議所会頭、市水泳協会会長が、3名の地元県議会議員にも同席をいただき、県知事、県議会議長にそれぞれ、上尾市への整備についての要望書を提出したことを答弁しました。市長からは、本市に、さらに屋内50mプール及びスポーツ科学拠点施設の整備が進めば、県内において有数の総合スポーツ拠点となること、市の地域活性化にも大いに資することから、引き続き要望活動を積極的に行っていきたいと答弁しました。

3ページをお願いいたします。深山孝議員から、「行財政の諸課題について」の中で、ICT教育の準備状況と今後の展開等について質問がありました。端末については、平成30年度、平成31年度に合計2,332台が整備済みであり、今回は、1人1台端末を整備するために、新たに小学校9,605台、中学校4,956台、合計14,561台を追加整備する予定であること、本事業は、端末、機器保証、ネットワーク設定に係る費用として、5年間の総事業費、約9億3,000万円を予定しており、財源として、うち、約5億800万円は、令和2年度 公立学校 情報機器整備費 補助金を活用し、市の負担分としては、約4億2,200万円であること、そして契約の方式は5年間のリース契約とし歳出の平準化を図る予定であることを答弁しました。

9ページをお願いします。上から4つ目の●になりますが、田中一崇議員から、「小中学校の新型コロナウイルスに伴う臨時休業について」の中で、今後、学校と各家庭との間でオンライン授業を実施する場合のWi-Fi環境が整っていない家庭における通信費についての質問がありました。Wi-Fi環境が整っていない家庭に対して、モバイルルータを貸与するためのハード面に係る補助金が、今回の国の補正予算に用意されておりますが、モバイルルータと一体となる通信費用については、用意されていないことや、その費用を市が負担することを想定すると大きな財政負担が懸念されることとあり、国に要望してまいりたいと考えていると答弁しました。

10ページをお願いします。1番下の●になりますが、戸野部直乃議員から、「市における幼児教育の展望について」の中で、発達障がいのある子の受け入れの状況について質問がありました。私立幼稚園には、心身に障害等のある幼児が在園する幼稚園に対して、関連費用を補助する「私立幼稚園特別支援教育費補助金」があるが、その制度の利用の有無について確認したところ、21園中12園で受け入れている状況であると答弁しました。

13ページをお願いします。井上智則議員から、「学校再開後の学校生活環境について」の中で、今後の給食調理室へのエアコンの設置予定についての質問がありました。下から3つ目の●になりますが、設置については、スポットエアコンの整備状況も考慮し、学校施設整備全体の中で考えていくと答弁しました。

14ページをお願いします。1番下の●になりますが、海老原直矢議員から、「学校休業中の対応と子ども支援について」の中で、国のGIGAスクール構想関連の予算において、「障害のある児童生徒のための入出力支援装置の整備を支援」するための予算が用意されており、上尾市としても同予算を活用して障がい児の受け入れ態勢の強化を行うべきであると考えているか、との質問がありました。現在、各学校における支援装置の需要について調査している状況であり、今後、国の補助金とその活用方法について、調査、研究していくと答弁しました。

15ページをお願いします。新道龍一議員より、1人1台端末整備の導入後を含めた運用に要する経費についての質問がありました。下から3つ目の●になりますが、現在、運用している学校ネットワークの経費で年間約2,440万円、既に整備した約2,300台の端末や校内無線LANのネットワークシステム全体の経費として年間約2億1,170万円がかかっているが、これらに加え、今般の1人1台端末の整備によって、年間約7,900万円の経費が加わることとなり、小・中学校における教育用のコンピュータ事業としては、年間約3億1,500万円と想定していることと答弁しました。

18ページをお願いします。佐藤恵理子議員より、高齢者のインターネットの知識を広げるために、高齢者に向けたパソコン教室の開催をさらに増やす等対策を講じるべきだと考えるが見解は、との質問がありました。昨年度は、公民館事業として「スマホ教室」や「シニア向けスマホ・ケータイ安全教室」を開催するほか、教育委員会と地元企業との協同事業として「初心者向けタブレットインターネット体験」などを開催したこと、今年度も公民館事業としてスマートフォンの基礎講座を4回予定していることや、今後の公民館を使った事業については、市民や有識者で構成された公民館運営審議会の意見も伺いながら進めてまいりたいと答弁しました。教育総務部関連は以上でございます。

(瀧沢葉子 学校教育部長) 学校教育部に関係する一般質問についてご説明申し上げます。

1ページをご覧ください。星野良行議員から「新型コロナウイルス感染症への対策について」の中で、臨時休業中のオンライン学習はどのように行われたのかというご質問がございました。学校では「ライズeライブラリ」の活用、また「YouTube」の動画アップロード、「Zoom」を活用した取り組みが進められたと答弁いたしました。

3ページをご覧ください。深山孝議員から「行財政の諸課題について」の中で、端末を導入し今後どのように導入計画を立てていくのかというご質問がございました。児童一人一人の反応を踏まえた授業を展開したり、また個に応じた学習を行っていく為のICT学習を進めていくと答弁いたしました。

鈴木茂議員からは、「学校再開後の諸問題について」の中でいくつかご質問をいただきました。その中で、先生方の大きな負担になっていることがあるかというご質問につきましては、消毒作業の他、長期間の臨時休業に伴い、年間指導計画を見直して授業時数を確保することなどがあつたと答弁いたしました。

5ページをご覧ください。学校再開当日、感染症が心配で登校させない家庭へはどのようにしたかというご質問については、感染症が不安という理由で学校を休ませたいと相談された家庭については、担任や管理職が電話や家庭訪問等を行い、欠席としないという措置を講じたということでご理解いただくよう努めたと答弁いたしました。

続きまして7ページをご覧ください。田中一崇議員から「小中学校の新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業について」の中で、8ページ、学校再開にあたって、先生方が児童生徒の変化にどう気付いてどのように児童生徒の心のケアを行うのかというご質問について、教育委員会では、「上尾市立小・中学校再開実施マニュアル」に基づき、学校再開当初に「心のアンケート」を実施し、心配があると答えた子供には、丁寧に対処するよう各学校に指導しており、また上尾市教育センターにおいても、学校と連携して心のケアを行うことが出来るような支援体制を整えていると答弁いたしました。

9ページをご覧ください。林間学校、修学旅行、運動会等の大きな行事をどうしていくのかというご質問につきましては、学校行事の可否は校長が判断いたしますが、現時点では林間学校、校外学習などを中止としたり、運動会や体育祭、音楽祭などの学校行事は代替となる方法での開催を検討していると答弁いたしました。

10ページをご覧ください。戸野部直乃議員から「コロナ禍における食品ロス対策とフードパントリーの高まる需要への対応」という観点から、実際に学校給食の食材は全てキャンセルできたのか。キャンセルできないものがある場合は、どのようなものがあつたのかというご質問につきましては、一部の食材につきましては、キャンセルできないものもあり、消費期限が短い生肉などの生鮮食品やケーキなどのデザート類などはキャンセルが出来なかつたと答弁いたしました。

11ページをご覧ください。原田嘉明議員から、「子育て環境の課題と対応について」の中で、今後、再度の臨時休業の可能性が考えられるが、その場合の在宅学習についての質問に対し、今後再び

臨時休業となった場合には、各学校が行った、ホームページを活用した学習課題の提示や、連絡などが重要な役割を果たしてくること、また学校がホームページ等で学習支援の情報を丁寧に発信していくことを徹底していくと答弁いたしました。

井上智則議員から、「学校再開後の学校生活環境について」の中で、12ページ、今後のオンライン授業の活用方針と課題は何かというご質問がありました。オンライン授業につきましては、対話的なコミュニケーションツールとして、大変有効であり、課題と致しましては、使用可能な情報端末やネット環境が無い家庭への支援、教職員のICT活用能力の向上などであると答弁いたしました。13ページですが、置き勉の状況につきましてご質問がございました。教育委員会としましては、県の通知に基づき、暑さ対策などを考慮し、各学校で通知例を参考に、通学時の荷物の負担軽減をする取り組みを実施すると答弁いたしました。

14ページをご覧ください。海老原直矢議員から「学校休業中の対応と子ども支援について」の中で、15ページ、休業期間中に給食の提供や昼食の確保がされず、給食が担う役割が大きいということについてどのような見解があるかというご質問につきましては、臨時休業中の児童生徒の健康面への影響を配慮していくことについては重要なことであり、できるだけ速やかに定期健康診断を実施し、必要に応じて個別指導していく旨答弁いたしました。

新道龍一議員から、「Withコロナ。市役所の働き方改革と教育のIT化に向けて」の中で、GIGAスクール構想の進捗状況を踏まえて市として、教員の研修をどのように行っていくのかというご質問がございました。教育委員会といたしましては、児童生徒一人一台の端末整備を見据え、教職員ICT活用能力を高めるため、端末を活用した授業研究会や導入するソフトを活用するための研修などを計画的に行っていくことを答弁いたしました。

16ページをご覧ください。樋口敦議員から「コロナ禍における学校教育について」の中で、学習の遅れを取り戻す方法、対策についてのご質問がございました。教育委員会では夏季休業中の短縮や土曜授業の実施、1単位時間の短縮などを通して、必要な授業時数を確保するようにしていく旨を答弁いたしました。17ページ、「YouTube」にアップロードされた、各学校が作成した408本の動画の内容と内訳はどのようなものかというご質問に対しましては、「教科等の学習支援動画」が約73%、「学校紹介や職員紹介などの動画」が約22%、「学校における新しい生活様式についてなどの啓発動画」が約5%と答弁いたしました。

18ページをご覧ください。井上茂議員から「新型コロナウイルス対策について」の中で、今回のコロナ禍で困窮する家庭に対しての支援は、就学援助ではできないのかというご質問につきましては、就学援助については、前年の年間所得で判断しておりますので、現在のところ収入が減少した数か月の所得での対応は予定しておりませんと答弁いたしました。

続いて矢口豊人議員から「学校給食の公会計課とコロナ問題における給食支援について」の中で、19ページ、「公会計制度」を採用することが示されているが本市における進捗はどうなっているかという質問に対し、令和元年7月に文部科学省から示されたガイドラインの内容を踏まえながら、公会計のシステムの構築や体制整備等を様々な課題を整理、検討しているところであるということ答弁いたしました。また、今後のスケジュールを教えて欲しいというご質問に対しましては、文科省のガイドラインで概ね2年程度の準備期間を設定するのが標準的であると定められているので、これを踏まえて検討しているところであると答弁いたしました。

20ページをご覧ください。池田達生議員から、「コロナ禍における学校給食について」の中で、就学援助認定世帯に対して、どのような対策をとられたのか。検討されたのか。という質問に対し、就学援助世帯は小・中学校全世帯に臨時休業中の給食費を徴収しないこととしたため、特に行っていないことを答弁いたしました。

21ページをご覧ください。津田賢伯議員から「学校について（新型コロナウイルス感染症への対応）」の中で、22ページ、現時点での年間カリキュラムや学校行事を削減する部分はあるのかというご質問につきましては、教育課程のうち、水泳の実技指導は、定期健康診断の十分な実施が出来ないことや3密の条件を回避することが難しいことなどから実施しないと、また学校行事につきましても、感染拡大防止と授業時数確保の観点から中止したのものもあることをお答えしております。

平田通子議員から、「こどもが大切にされる上尾市に」の中で、学校再開後の子供達の様子に変化はあるか。休んでいる子は増えているか。というご質問に対し、多くの児童生徒は、新しい生活様式に従い落ち着いて取り組んでおり、欠席者数は臨時休業前と比べて、現時点で大きな変化はないと答弁しております。

24ページをご覧ください。秋山かほる議員から「コロナ対策学校での対応について」の中で、国からの100万円から300万円の学校の規模に応じて緊急的に措置する方針が示されているけれども、この枠組みの中で、教育委員会はどのようなものを活用することを想定しているのかというご質問につきましては、国の本事業の概要や新型コロナウイルス感染対策の強化に必要な経費や夏季における学校給食実施に必要な経費の支援を示しているため、これらを踏まえて整備を考えており、国の補助金要綱等の詳しい通知が届き次第、速やかに事務処理を進めていく旨を答弁いたしました。学校教育部からは以上でございます。

○報告事項2 第62回 上尾市民体育祭の開催中止について

（柳川忠明 スポーツ振興課長）報告事項の2ページをお願いいたします。「報告事項2 第62回 上尾市民体育祭の開催中止について」ご報告いたします。今年度は、10月11日（日）に上尾運動公園を会場に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症が更に拡大し、現時点では収束の見通しもないことから、体育祭に関わる全ての皆様の安心・安全を最優先として、開催を中止いたしました。以上、報告とさせていただきます。

（瀧沢葉子 学校教育部長）「報告事項3」は田中副参事兼指導課長が、「報告事項4」は荒井学校保健課長がご説明申し上げます。

○報告事項3 令和2年6月 いじめに関する状況調査結果について

（田中栄次郎 指導課長）3ページをお願いします。「報告事項3 令和2年6月 いじめに関する状況調査結果について」でございます。4ページ、5ページをご覧ください。6月に学校再開し、認知件数は、小学校24件、中学校10件でございます。解消につきましては、小学校19件、中学校8件となっております。解消に向けて取組中となっているものが、小学校77件、中学校28件となっております。以上でございます。

○報告事項4 令和元年度上尾市学校安全パトロールカー事業運行実績について

（荒井正美 学校保健課長）6ページをお願いいたします。「報告事項4 令和元年度上尾市学校安全パトロールカー事業運行実績について」報告をさせていただきます。平成19年度からスタートいたしました本事業は、地域の防犯ボランティアの皆様やPTAの皆様などの協力により、児童生徒の安全を初め地域の防犯に大きな役割を果たしているところでございます。まず、項目1の「運行実績」でございます。詳細は表のとおりでございます。前年度実績との比較では、運行回数は、前年度の1台月平均が14.2回であり、少し減少傾向にございます。距離、時間につきましては、1回平均で見ますと、ほぼ同じ実績でございます。項目2の「月別グラフ」につきましては、年度を通して例年実

績と同様の推移となっております。なお、お手元の資料にはございませんが、参考としてご報告させていただきますと、青色回転灯を点灯するために必要な「実施者証取得者」につきましては、令和元年7月末現在で、1,532名となっております。また、児童生徒の交通事故につきましては、令和元年度は、年間で20件ございまして、ここ5年間で最も少ない件数となっております。今後に向けましても、地域、学校、警察等の横断的な協力体制のもと、児童生徒の安全確保、地域防犯の抑止力の一助となるよう、本事業を推進していきたいと考えております。以上、報告とさせていただきます。

(瀧沢葉子 学校教育部長) 報告は以上でございます。よろしく願いいたします。

(池野和己 教育長) ありがとうございます。ただ今の報告事項につきまして、ご質問、ご意見等ありましたら、お願いいたします。

(内田みどり 委員) 4ページ「いじめに関する状況調査結果について」お伺いさせていただきます。コロナの影響で学校が臨時休業の後再開されましたが、小学校1年生の登校渋りが毎年あるように思いますが、今年度は再開にあたってそういった登校渋りが無かったかどうか、また、コロナに関するいじめのようなものがあったのか伺います。

(田中栄次郎 指導課長) 今ご質問いただきました1点目の1年生の登校渋りにつきましては、基本的には例年と同様です。分散登校で今年度がスタートしましたので、そのような部分で学校の教員の目が行き届きやすかったということはありません。2点目のコロナ関連のいじめに関しましては、例年ですとやはりいじめに関するものは、からかい等軽微なものがとても多くなっている中で、コロナが絡んだ言葉、心許ない言葉やそのようなものも多少見られますが、学校再開の折に、学級活動を全校全クラスで実施しておりますので、思った以上に多くはないと考えております。

(内田みどり 委員) 保護者の中で、子供が咳をすると学校に行きたくないということを訴える子供がいるということですが、咳をしているとコロナじゃないかということを経口にする生徒もいるようなので、そのところを注意していただけたらなと思います。よろしく願いいたします。

(大塚崇行 委員) 7月12日、13日に学校関係者の中で、コロナの感染が確認されたということをお伺いしました。実質学校を1日半の間休校したということでしたが、議会答弁資料21ページの津田議員への答弁のところで、感染されてから2日程度休校するというように書いてありますが、少し早めに再開されたように思いますが、早く再開を判断した基準というところと、その後、再開が早かったのではないかなという様な声が、保護者などいろいろな学校関係者からあがったのかなというように伺います。

(荒井正美 学校保健課長) 早く判断した基準につきましては、その前の週から当該学校の関係者がPCR検査を受検することが分かっておりましたので、濃厚接触者の後追い調査がスムーズに進められるように事前に学校と保健所が協議をしていたため、臨時休業が1日半で済んだということでございます。それから1日半の臨時休業で市民の方から、不安な声があがってないかということですが、何件かそのようなご意見をいただくことがございましたが、保健所と十分協議を行いながら対応しているということを丁寧に説明し、理解をいただいたところでございます。

(大塚崇行 委員) ありがとうございます。先程説明のあった31件の学校に行かせたくないという相

談につきましては、おそらくここには含まれていないのかと思います。そういった対応を今後もしっかりとさせていただければと思います。続けて、議会答弁資料9ページ、田中議員の「林間学校、修学旅行、運動会等の大きな行事についての質問で答弁している運動会・体育祭や音楽会などの学校行事に代替となる方法とはどういったものを考えられているか伺います。

(田中栄次郎 指導課長) 例えば運動会ですと、今までは、各校の校庭で、全学年で、その保護者を入れてというイメージだと思いましたが、今年度につきましては、保護者を入れずに、学年ごとになどで開催するなどの検討をしています。

(大塚崇行 委員) わかりました。ありがとうございます。

(小池智司 委員) 議会答弁資料4ページ、鈴木議員からの質問の中、学校再開後と再開前の想定したことの違いについてというところで、予想以上に教職員の消毒作業に時間がかかるということを答弁されています。教職員の方は、コロナ禍とは関係ないところで過密なスケジュールの中、普段から忙しい職務を担当していると思いますが、ましてやこのコロナ禍の長期間の臨時休業に伴い、年間指導計画の見直しや授業時数の確保など、更に今年は厳しい状況にいるのかなと思います。その中でさらに消毒活動で時間を取られるということは、かなり先生方の負担が大きいのではないかと思います。今まだコロナ禍がなかなか収束しない状況が続いており、これが長引いてくると更に先生方の負担が大きくなると思いますので、予算の都合などもあるとは思いますが、消毒作業の専門の業者をお願いすることの検討はされているのでしょうか。

(荒井正美 学校保健課長) 今現在、答弁でもお答えしたように先生方には、放課後に子供達がよく触れる箇所を次亜塩素酸ナトリウムで消毒していただいています。これがかなり負担であるということなのですが、この消毒に当たって、子供達の机や椅子等は個人の使用なので多くの児童生徒が触れないということで、なるべくそういったところの消毒は行わないということはその負担を減らすように校長会議等でも指導しているところであります。併せて小池委員からご指摘があった外部委託につきましては、財源の確保が必要になりますので、他市の状況等を見ながら研究してまいりたいと思っております。

(中野住衣 委員) 同じ件ですが、児童生徒が下校した後に、教職員が消毒をするのは負担かなというふうに思っているのですが、学校によっては、学校応援団の皆さんに協力を得て消毒をしているということを知ったことがあります。逆に感染リスクということを見ると、この期間には外部の方が学校に入ってくることをなるべく避けることとして、そういう協力の声があっても遠慮していただいて、教職員で消毒をしているというようなことも聞いています。その状況について伺います。

(荒井正美 学校保健課長) 中野委員がおっしゃるように、学校によっては学校応援団や保護者の皆様に協力をお願いしているところもありますが、感染の不安があってもなかなか実現に至っていないという状況です。消毒は毎日行わなければいけないものなので、その部分を保護者の方や地域の方をお願いするのは、やはりあくまで協力をお願いなので難しさがあります。小池委員さんがおっしゃった外部委託については、校務員という委託の中で、学校の用務業務をシルバー人材センターの会員の方をお願いしている経緯がありますので、その辺の対応の中で少しでも教職員の負担を減らす方策の検討を進めてまいりたいと思います。

(中野住衣 委員) ぜひ、その外部委託も含めて検討いただければと思います。続けての質問ですが、先程、一般質問に対する答弁要旨のご説明をいただきありがとうございました。議会答弁資料8ページの学校再開にあたって先生方が児童生徒の変化にどのように対応したかという田中議員の質問に対する答弁の中で、教育センターと学校が連携して児童生徒を支援する体制があるとお聞きしました。上尾市では、教育センターに8人のSSWが配置されたことに深く感謝をしているところですが、6月から学校が再開となりまして、この8人のSSWの学校支援の内容について伺います。

(田中栄次郎 指導課長) スクールソーシャルワーカーは今年度から8名に増員となっております。配置した職員の中には業務経験が少ないものもおりますので、年度当初には今まで経験してきた職員とペアを組んで、仕事内容や子供への接し方等を慣らすというようなところから始まっています。現在のスクールソーシャルワーカーの活用という部分は、少しずつ増えてきたというような状況です。また例年スクールソーシャルワーカーは各家庭に出向いて、子供達への支援を行っておりますけれども、今年度より少しでも引きこもり状態から脱出させるために、例えば公民館等場所を変えて、スクールソーシャルワーカーと子供とが待ち合わせをして勉強や相談等話を少しずつするという様な活動を行っている状況です。

(中野住衣 委員) わかりました。

(内田みどり 委員) コロナ関係で伺った件の続きですが、例えば生徒の感染が分かった場合の濃厚接触者の範囲について、例えばクラスで感染があった場合にどの範囲を濃厚接触者というのか伺います。

(荒井正美 学校保健課長) 濃厚接触者の特定は、保健所により児童生徒の学校での校内活動などを追跡して行います。その範囲についてはそのケースによって異なってきますので、具体的にどこの範囲というものはございません。

(内田みどり 委員) 一人の人が感染した場合の具体的な距離というものはないということでしょうか。

(荒井正美 学校保健課長) 厚生労働省の一般的な基準では、マスクをせずに1mぐらいの間隔で、15分以上対話をしたケースが濃厚接触者とされています。実際は、保健所のアドバイスに基づき、学校とヒアリングをしながら、どのように活動していたのかなどの調査をして特定されます。先ほどの基準は一般的な例となります。

(内田みどり 委員) わかりました。ありがとうございます。

(細野宏道 教育長職務代理者) 小池委員が質問された消毒の外部委託について、是非教職員の皆さんの負担を軽減するために、外部の方を入れていただくための予算措置を推し進めていただければと思います。小学校の児童、中学校生徒は確かにマスクをして授業を受けるという予防をしていますが、授業時間中などいろいろなところで子供達は会話をしたりするので、学校として予防ができることというのが消毒だと思います。それをこまめにすることが絶対に必要になってくると思いますので、コロナ禍においては、教育委員会だけではなくて上尾市全体で予算が必要であり、限りある予算

ではありませんが是非未来の子供達のために頑張っていたいただければと思います。

2点目は、GIGAスクール構想は大変予算が掛かります。そして今後事務を進めていくときに、各人にハードのパソコン1台を与えるということはそれを使うWi-Fi環境が必要だと思われ、更に通信料も必要だと思われ。それを全世帯にWi-Fiがつつがなく使える環境を全て完璧に整えることは、さらに大変予算が必要だと思われ。それが果たして現実的なのかということを考えて、学校にまずWi-Fi環境を100%整えて、万が一、第2波や第3波が来た際、Wi-Fi環境が整っておらずそれが使えない人は、学校が休業になってもあるところだけはオープンにして、学校に来て学校で使うということができるようには是非まず学校のWi-Fi環境を100%整えることを進めていただきたいと思います。パソコンなどのソフトは、何々が出来ます、これは何々が出来ますということだけを言われますが、それは何々という環境を整えればという条件が必要だということが抜ける場合があります。この部分は、膨大な人的な作業や予算が必要になりますので、予算が湯水のようにあれば別ですが、それを行えば最終的に子供達が税金として将来負担をすることになりますので、有効なものをしていただければと思います。

また、以前Zoomの学校への導入に向けた研修会を拝見しました。今後、第2波や第3波が来た時にすぐ授業には使えないかもしれませんが、Zoom導入の検討状況について伺います。

(田中栄次郎 指導課長) 細野委員からありましたとおり、Zoomの活用に向けた研修会を実施しております。現在の学校では、残念ながらまだ1人1台のタブレットが配置されておられません。しかしながら、第2波や第3波により長期の臨時休業になった際には、前回の休業と同様という訳にはいかないという話をしながら、Zoomの研修の内容を参考にして学校の中で出来る限り使うというような方針であります。具体的には、指導課が行っている学校訪問の中で、毎回行う全体会を開始の段階ではそれを分科会として、そこでZoomを使って実施するというように、教員がまず使うというところを進めている状況です。この後、第2波や第3波への備えにつきましては、家庭のWi-Fi環境が全て整っている訳ではありませんが、基本的にはZoomで健康観察を行って、Zoomを利用できない家庭については、電話連絡等で連絡をしていくというようなイメージであります。

(池田直隆 教育総務課長) GIGAスクールのハード面の整備についてでございますが、平成30年度と平成31年度に、学校のWi-Fi環境の整備は、ほぼ全校の無線LANの環境は整っております。ただし中央小学校と上尾中学校につきましては、校舎改築の際に、古い規格の環境となっておりますので、今夏に6Aという新しい規格に替える工事を行い、全ての学校において無線LANの環境は整う状況となっております。通信料の負担の件につきましては、細野委員がおっしゃるとおり、かなりの財政負担が出てきております。現在調査中ですが、我々の方で想定している家庭にWi-Fi環境が整っていない児童生徒数は、おおよそ1,600人ぐらいと見込んでおまして、その家庭にWi-Fi環境を整備し、通信量の確保を行うと試算しますと、我々のスマホと同じぐらいの金額である月額5,000円とすれば、それを12ヶ月分考えますと年間約1億円というところになってきます。この財政負担につきましては他の自治体も同じ課題を抱えていると思われ、他の自治体の状況を見ながら、より良い環境を作れるように進めてまいりたいと思われ。

(細野宏道 教育長職務代理者) よろしくお願います。続けて、新聞紙上でも記載されておりましたが、コロナ禍が終わって、学習の面では子供達の学校の学習の把握の状況であったり、もうひとつの面として心のケアの問題だったりがありますが、子供達にアンケートを取っていただいたということですので、その状況について伺います。

(田中栄次郎 指導課長) 学校再開後に、心のアンケートを実施いたしました。その結果では、小・中学校別に申し上げますと、小学校全体では、「学校再開に関して不安を感じている」とした児童生徒の割合は4.1%、中学校では、7.8%ございました。その不安を感じている内容につきましては、各担当が面談を行って状況を把握しております。小学校については「学校生活に関すること」が多くありました。中学校では、「学習面に関すること」が約半数を占めている状況でございました。その他小・中学校ともに「友人関係」と、中学校については、少しずつ分散して、「部活」であったり、「家庭」であったり、「ゲーム」であったり、いろいろなものがあがってきている状況にあります。

(細野宏道 教育長職務代理人) ありがとうございます。

(大塚崇行 委員) 報告事項2の上尾市民体育祭が中止になったということですが、この先コロナがどうなっていくかわからない中で、県などの主催であれば、県などの指導に従って開催を判断すると思えますが、例えば今後控えている成人式などの大きな上尾市主催の行事について、中止することや決行するということの判断の基準のような考え方はあるのか伺います。

(小林克哉 教育総務部長) 具体的なイベントについて、今のところこういう場合に中止するという様な判断基準は特にございません。ただコロナの対策本部会議等の中で諮ってどうするかということを決めたり、また担当部署の方で状況を見ながら、これからやることについて、今までどおりのやり方でやるということは難しいのであれば、やり方を変えた代替の形でまず実施できるかどうかを検討することが大事だと思います。そのうえで、検討を進めていく中で、やり方を変えても実施が難しいということであれば、その時点で中止という判断をするということもあろうかと考えております。

(大塚崇行 委員) 皆さんいろいろと準備をしてやるということもあると思しますので、そういう判断がしっかりしていると納得するということもありますし、またその判断があまりに遅すぎるとご迷惑をかける部分が多くあると思しますので、そういった対応をしっかりやってほしいと思います。

(中野住衣 委員) 1点目は、コロナ禍における市内の小中学生の状況がどうしても心配になります。6月からやっと学校が再開し、分散登校から段階的に教育活動を進めていく中で、先生方が感染防止にむけて細かな配慮をもって消毒等含めて行いながら、併せて子供達の心のケア、学習指導等を行ってきた状況であろうと推測するところです。そういう中において、いじめに関する状況調査に関して、小学生のいじめであがってきたケースが多いように感想を持ちました。新学期、新しいメンバーで学級をスタートする先生方は、子供達との信頼関係を作っていかなければならない中、大変な緊張感を持って3密防止の徹底など感染防止を意識した学級運営になったと思います。そうした状況の中で、いじめがどのように発生するのか疑問に思いました。長期にわたる休校措置の後に、学校生活がスタートした、特に小学校1年生の対応が大変難しかったのではないかと、また、今後も難しさがあるであろうと思います。この6月にいじめとしてあがってきた人数ですが、学年別に、どういう状況で起きているかということをお伺いします。

2点目は、長期にわたる休校という未曾有の経験の中で、子供達の学力格差が広がっていると言われ、私も直接子供達の学習を見る機会があり、それを感じています。そうした中で、8月1日から17日までの夏休み期間の課題としては、各学校がどのように準備を進めているのか、学力格差への対

応やオンライン授業履修の対応も含めて、把握されている状況について伺います。

(田中栄次郎 指導課長) 1点目のいじめに関する状況調査結果を学年別に申し上げますと、小学校1年生が1件。2年生が6件。3年生10件。4年生はございませんでした。5年生が2件。6年生が5件。中学校につきましては、1年生が3件。2年生が6件。3年生が1件でございます。場面につきましては、やはり3密を回避するためにあまり子供間で近づかないというような指導はしていますが、そうはいつでも子供の中では、場面によっては近づいてしまったり、または、からかい等の言葉をかけてしまったりというものは多くなっている状況でございます。中学校に関しましては、小学校同様ですけれども、携帯電話等でのLINEによるトラブルのようなものが2件報告されている状況でございます。

続いて2点目の学力の差に関連した件につきましては、基本的に夏休みの課題は学校毎に適切に立っているという状況です。オンラインのものが入っているかどうかにつきましては、把握できておりませんので、この後確認したいと思います。

(中野住衣 委員) わかりました。よろしく願いいたします。

(池野和己 教育長) 他にございますか。よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) ありがとうございます。様々ご意見等いただきまして、ありがとうございます。報告についての質問、ご意見は以上で終了とさせていただきたいと思います。

日程第6 今後の日程報告

(池野和己 教育長) それでは続きまして「今後の日程報告」をお願いいたします。

(池田直隆 教育総務課長) 「教育委員の当面の日程」のご用意をお願いいたします。今後の教育委員会の会議の日程を入れさせていただきました。次回は8月5日水曜日に臨時会を予定しております。9時30分に開会し、終了は4時頃を予定しております。9月24日でございますが、開始が午後6時となっておりますのでご注意くださいと思います。新たに日程を加えさせていただいたものが、1月10日の令和3年上尾市成人式でございます。現時点では、感染予防対策をはかりながら、実施する方向で準備を進めている状況でございます。予定の説明は以上でございます。

(池野和己 教育長) 教育委員の当面の日程について説明がありましたが、これについて何か質問はありますでしょうか。

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) ないようですので、その他、委員の皆様からご意見、ご要望等をお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

日程第7 閉会の宣告

(池野和己 教育長) それでは、以上で本日予定されておりました日程はすべて終了いたしました。これをもちまして、上尾市教育委員会7月定例会を閉会といたします。お疲れ様でした。

令和2年8月25日 署名委員 細野 宏道